今日もご安全に
建設業労働災害防止協会 大分県支部
〒870-0045 大分市城崎町3丁目3-41
TEL/097-538-0745 FAX/097-538-0323

大分建設新聞

2月9日
水曜日　平成23年
第6233号
㈳日本専門新聞協会加盟紙

日刊（日・月、祝日休刊）　発行所　大分建設新聞社　〒870-0954　大分市下郡中央2-4-11　電話(097)568-3113　http://www.oks-news.com

コンクリート構造物の耐震診断、強度測定に
ソフトコアリング
国交省対応 小径コア ボス供試体
土木構造物、建築物の両方に適用可能！
全国出張致します
日本テクニクス㈱
〒870-0954 097-594-4433 建築士事務所

建設トップランナー倶楽部

地域再生目指して

全国の41社で設立

建設業の置かれた厳しい状況と闘いながら、夢を持って新規事業や技術開発にまい進する建設業者が集まり、持続可能な社会基盤づくりや従来の枠を超えた地域再生をめざす、全国の地方の中小建設業者41社が幹事となって、「建設トップランナー倶楽部」を立ち上げた。7日、東京・港区の建築会館で幹事会を発足させ、代表幹事に和田章東京工業大学教授、米田雅子慶応大学教授が就任した。本紙も「地方建設記者の会」（特別会員）の一員として参加している。

全国から建設業41社が参加

同倶楽部の前身は「建設トップランナーフォーラム」。18年から、建設業の異業種参入の事例発表会などを開催し、大分県からは21年、昭和建設工業（遠藤建作会長）が広大な茶畑栽培への進出事例を発表した。同フォーラムは期間限定の活動だったため、今回「建設トップランナー倶楽部」として改組、発足した。

幹事会では規約を承認、役員を選任し、書籍「（仮題）建設トップランナーの挑戦～複業化と地域貢献」の発刊と、同書の発刊記念を兼ねて7月にフォーラムを開くなど、今年度の活動計画を決めた。

幹事社は、林業との連携で地域再生を図る「林建協業」に取り組む企業や、農業など異業種展開に取り組む企業、建設業協会支部全員の情報化推進で地域をあげて本業の高度化をめざすなど、その活動はさまざま。しかし、公共工事の激減と価格競争の激化に対して「なんとかしなければ」という思いは共通だ。

幹事会終了後、国土交通省や経済産業省、農林水産省や総務省などの幹部をアドバイザーとして招き、最新の施策の動向や予算、助成措置の活用などについて聞いた。省庁幹部らは、これまでのフォーラムの活動に賛同し、支援してきた人たち。それぞれが、今後の倶楽部の活動の発展に期待を寄せた。国交省総合政策局建設市場整備課の松本大樹課長は、建設産業戦略会議について説明。地域社会に建設業は不可欠な存在であり「建設業の疲弊は地域社会の疲弊につながる」としたうえで、地方公共団体でのダンピング受注が減らないことなどの問題点を指摘し、「透明性を確保した地域維持型の契約方式の導入」などについて検討を進めていることを説明した。

同倶楽部には長崎県建設業協会の谷村隆三会長も幹事社として参加。谷村会長は、全国建設業協会の広報委員長でもあり、長崎建協は小学校向けに建設業の社会的役割をPRするパンフレットを作成、配布するなどの活動を行ない、建設業のPRに努めているという。（中本）

老朽化し存続手法が検討される直入荘

「直入荘」のあり方考えよう

竹田市 18日に市民参加の会議

竹田市は今月18日に、老朽化した国民宿舎「直入荘」について、存続手法を考える有識者と市民参加のパネルディスカッションを、同市会々の市総合社会福祉センターで開く。

施設は昭和50年に建設。RC造3階建て延べ床面積2388平方㍍で、2ヵ所の源泉がある。大人数が収容できる地域の中核施設であること、黒字経営が続いており長湯温泉のシンボルとしても存在価値が高いことなどから、直入地域審議会と直入荘「あり方」検討委員会が、地元関係者の意向として存続を求める答申を示している。また、同市では独自の温泉療養保険制度の導入を目指しており、その受け皿としての同施設のあり方を含めた慎重な議論が必要とし、広く参加を呼び掛けている。

会議では「直入荘のあり方と温泉療養保険制度の展望」をテーマに、首藤勝次市長がコーディネーターを務め、パネリストには清水慎一氏（JTB常務・立教大学観光学部特任教授）、桑野和泉氏（ツーリズムおおいた前会長・㈱玉の湯社長）、西太一郎氏（ツーリズムおおいた会長・三和酒類㈱名誉会長）、秦安廣氏（直入地域審議会）、工藤勝男氏（直入荘「あり方」検討委員会）を迎える。竹田市に在住していなくても参加できる。問い合わせは、市直入支所産業建設課（℡0974〈75〉2211）まで。（小坂）

市や工事関係者、地元住民らが通り初め

亀川駅がバリアフリー化

自由通路が完成

エレベーター2基設置

別府市が進めている亀川駅周辺整備事業の一つ、亀川駅自由通路が完成し、4日、通り初め式があった。県や市、JR、工事関係者や地元住民などが多数参加した。

浜田博市長が「亀川温泉や太陽の家、別府医療センター、APU、溝部学園などがあり、別府の北の玄関口である亀川駅は、利用者が年々増えている。地域ニーズに合わせ、交通バリアフリー基本構想を掲げてきたが、エレベーター2基を設置するなどで、利用しやすい駅となった。皆様のご協力のおかげ」とあいさつ。野口哲男市議会議長は「関係する省庁や会社に、学生や障がい者の多い地域特性を考慮していただいた結果。地域発展に寄与すると思う」と来賓あいさつ。

この後、テープカットを行ない、通り初めをした。

式典には、溝部学園ひめやま幼稚園の園児が、演奏とダンスで華を添えた。

自由通路は橋長30・5㍍、幅員4㍍の単純鋼下路トラス橋で、外部が広く見渡せる明るい造り。自転車や車椅子も乗れる通路両端にある2基のエレベーターを利用することで、ホーム間を気軽に行き来できる。工事費は、4億7444万円。

来年度は、駅前のロータリーを事業費約11億円で整備する予定。亀川駅は、7月に開業100周年を迎える。（塚田）

清水・菅JVで着工

国東市の新・市民病院

国東市が同市安岐町の現国東市民病院敷地内に建設する新・市民病院の起工式が7日、現地であった。

式には、市、地元住民、病院や工事関係者など約50人が出席。野田侃生市長がカマを、籾井眞二病院事業管理者がクワを、杉谷文彦梓設計社長がスキを入れ、井上和幸清水建設九州支店副支店長が力強くクイを打ち込んだ。また、吉水國人市議会議長、堤俊之菅組社長、山下幸春九電工執行役員大分支店長、地元区長会長などの代表者が玉串をささげた。

野田市長が「今回の市民病院着工までには2つのよい点があった。まずは知事の決断。また、時の利。20年度には既に、改築か、新築かなどの検討を始めていた。21年5月には、国の経済対策交付金に書類を提出してみないかと県から声をかけていただいた。既に検討していたので、1週間で提出することができ、認定までがスムーズだった。ありがたいことだ。来年の竣工式が盛大にできるよう、どうぞ安全に施工していただきたい」とあいさつ。直会には工事関係者が集い、歓談しながら工事の無事を誓い合った。

クイ打ちをする井上副支店長

新病院は、RC造6階建て延べ床面積約1万1881平方㍍、病床数は207床。24年3月完成、同5月開院の予定。救急・急性期医療など高度多様化する医療への対応や地域医療連携の核としての施設を目指す。総事業費は約35億円。設計・監理は㈱梓設計（東京都）。本体建築工事を清水建設・菅組JVが、設備工事を㈱九電工が請け負った。（塚田）

大分市が32％減

12月の県内住宅着工

県土木建築部建築住宅課は、12月の建築着工統計調査の集計結果を発表した。

新設住宅の着工は473戸で、前月の492戸から減少、2ヵ月連続の減少となった。前年同月比も2・3％減。一方、床面積は4万6308平方㍍で前年同月比13・1％増、総工事費予定額は74億3652万円で同16・8％増と、いずれも2ケタ増となった。

構造別では木造一戸建て242戸で、一戸建てはいずれの構造でも増加しているが、長屋建、共同住宅は減少。マンションの建築は、10月以降3ヵ月連続ゼロとなった。

利用関係別では持家は70戸増の285戸と大きく増加、対照的に貸家は93戸減の157戸と大幅に減少した。持ち家の建築が下支えしている。

市町村別では大分市（97戸減、32・3％減）が際立ち、県全体の動向に大きな影響を与えている。その他の市町村はおおむね小幅な増減となった。（中本）

平成22年12月の県内住宅着工

	着工戸数	対前年比	
		増減数	増減率
大分市	203	−97	−32.3%
別府市	44	20	83.3%
中津市	33	14	73.7%
日田市	40	32	400.0%
佐伯市	35	17	94.4%
臼杵市	6	−1	−14.3%
津久見市	11	10	1,000%
竹田市	4	2	100.0%
豊後高田市	11	6	120.0%
杵築市	10	−3	−23.1%
宇佐市	19	2	11.8%
豊後大野市	10	6	150.0%
由布市	24	−18	−42.9%
国東市	7	1	16.7%
東国東郡	0	0	0.0%
速見郡	9	0	0.0%
玖珠郡	7	−2	−22.2%
合計	473	−11	−2.3%

1月補正で5・7億追加

杵築市

杵築市の22年度1月補正予算案が、23年第1回市議会臨時会で承認された。

補正額は5億7904万6000円で、今年度累計額は195億1612万4千円となった。

関係分は次のとおり。（単位千円）

◇総務費

▽経済対策費＝258、135（一般新設改良測量委託料5、500、旧北部中学校解体設計委託料3、000、下水路浚渫業務委託料8、000、設計監理委託料5、892、測量設計等委託料2、500、市道維持補修工事70、000、一般新設改良事業30、000、河川維持工事費8、000、学校施設工事費26、593、林道穴野西側線舗装工事7、000、城山公園環境改善工事1、399、山香グラウンド照明改修工事1、400、B&G海洋センタートイレ等改修工事1、500、旧北部中学校校舎解体工事29、394、同校跡地駐車場整備工事1、000、下水路安全施設設置工事2、000、児童クラブ施設改修工事3、000）

◇衛生費

▽水道対策費＝1、000（三尾平地区配水管布設工事1、000）

◇教育費

▽小学校建設費＝305、821（学校施設改築工事監理委託料8、827、学校施設工事費296、994）。

工事下請けの産廃運搬

請負代金500万以下

建設工事の下請負人が自ら運搬する場合の廃棄物について、請負代金の額が500万円以下などと定義したほか、下請負人が運搬する際は、改正省令（法第21条の3第3項）の規定に基づく運搬であることを証明する書面を携行することを定めた、廃棄物処理法施行規則の一部改正を公布した。4月1日から施行する。

改正省令は、建設工事の下請負人が自ら運搬する場合の廃棄物は、請負代金が500万円（税込み）以下（一。環境省はさきに、建設工事に伴って発生する廃棄物処理の例外規定などを定めた、廃棄物処理法施行規則の一部改正を公布した。4月1日から施行する。

改正省令は、建設工事の下請負人が自ら運搬する場合の廃棄物について、請負代金の額が500万円以下などと定義したほか、下請負人が運搬する際は、改正省令（法第21条の3第3項）の規定に基づく運搬であることを証明する書面を携行することを定めた。

このほか、優れた能力と実績があれば許可の有効期間を7年とする「優良産廃処理業者認定制度」の評価基準を設定。▽電子マニフェストの利用が可能▽ISO14001やエコアクション21などの認証を受けている▽直前3年の各事業年度のうち、いずれかの事業年度における自己資本比率が10％以上―などとした。

隅櫓保存修理の見学会

日出町が13日に

日出町が保存修理を進めている隅櫓（鬼門櫓）の見学会が、13日に行われる。

隅櫓は町立萬里図書館前。保存修理工事は、今年3月10日までの工期で、㈱上野建設が施工している。

見学会参加は無料。少雨決行で、午前9時半受付、10時から見学。約2時間を予定している。なお、参加者は町役場駐車場に駐車してほしいと呼びかけている。

隅櫓は慶長6年（1601年）に日出城の一部として築かれたとみられているが、北東側は禍の方角とされ、忌み嫌われたことから、わざと隅を欠く構造にしたといわれている。（塚田）

四方山

ゴルフ、魚釣り、カメラ、野菜づくり…私の周りは、大いに趣味を楽しんでいる。どれもおもしろそうだが、潤沢な資金や時間を要する贅沢品だ。かくいう私の趣味は、一漢字を分解、解読すること。これが発見してからは、看板や表札の漢字を見つければ、車で長時間移動する腰痛持ちの取材の苦しみもまぎらすことができた。読み終わった雑誌を再利用した暇つぶしもできる。とってもエコで知的な趣味なのだ▼どんな山の中の取材でも、道路標識ぐらいはある。前を走る車のナンバープレートの地名だけでもしばらくやり過ごせる。地名や単語は、それぞれに意味を持つ漢字を組み合わせて成り立っているし、それぞれの漢字には、さらにパーツごとに意味や音がある。後から思い出して漢和辞典を引くのも楽しい。中でも好きなのは、一字だけでキラリと光る個性があり、中身が詰まっていて、見ても書いても心地いい漢字。栄える私的素敵漢字トップ3を紹介しよう▼第3位は「健」。一説だが、「聿」は手に持った苗を植えつける様で、「えんにょう」は伸びる事や進む事を表す。「建」で「真っすぐ上に伸びる」「しっかりたてる」という意になり、昔は道標や石柱を建てることが国家統治につながっていたため、生活や活動の基盤となる物を「建設」する意を持った。それに「人」が加わり「まっすぐ立つ、心身を統べる」意味になる。背筋が伸びる気持ちいい字▼第2位は「極」。つくりの部分は両端の線の間に人を入れた形で、「頭上から足先まで」＝「端から端まで行き渡る」という意味があり、「極」で屋根の一番上に渡した棟木を指すようになったことから「最高」という意味になった。見た目も由来も、とにかく格好いい▼第1位は、「酒」。言わずもがな。（未）

大型ブルドーザー
D8 レンタル
始めました
その他の大型重機もレンタル開始!
D85EX　D6R
D65EX　D5N
価格などお気軽にご相談ください
建設機械リース・修理・販売・買取り・輸出
㊥国東重販株式会社
http://kunisaki-jyuhan.jp/
☎0978(63)8777 FAX:0978(64)9900

県内の建設関連情報満載！
確かな情報をスピーディーに！
購読・広告
住所移転・社名変更
お申込み 、御連絡先は
株式会社大分建設新聞社
☎ 097-568-3113(代)
※購読料のお支払いは便利な自動振替で

コンクリート配筋探査(RCレーダー・X線撮影)
地中探査(埋設物・空洞調査)　鉄骨　UT
非破壊検査の技術で社会貢献を目指します
＊護岸・道路・トンネルの空洞探査
＊ガス管・電線管・水道管探査
＊コア抜き時のレントゲン撮影
＊アンカー打設部の鉄筋探査
＊鉄骨の超音波探傷
お見積・お気軽にお問い合わせ下さい。
お問い合わせ担当：岡崎・山内

九州全域をカバーしています。
本　　社 大分市三佐1274-1
北九州出張所 北九州市小倉北区中井2-2-8
＊国GSSI社のSIR3000システムを導入しました。
株式会社新日本テスコム TEL 097-535-8007